



未来に向かって!

平成22年江府町成人式



町報
2010
2月
No.467

こうふ

阪神淡路大震災から十五年

今年で阪神淡路大震災が発生して

から十五年がたちました。当時発生した地震規模は、マグニチュード七・三で、死者六、四三四名、行方不明者三名、負傷者四三、七九二名と悲惨な状況でした。一方で、地震発生時間が、早朝の五時四十六分ということもあり、比較的小さな被害であったと言われています。

今では、十五年前に大地震が、このまちで発生し、多数の死者、負傷者を出したなどはわからない状態まで復興を遂げています。震災を受けた方が、当時の状況を「あの時は、電気、水道、ガスが止まり、飲み水がなくて困っていた。支援物資で支給された一本のペットボトルをみんなで分け合って回し飲みをしたものだった。あの時のことを今は、忘れかけている。あの時に受けた支援物資は、本当にありがたかった」と言っておられました。

午後二時
中国道を経由して
神戸市東遊園地に到着

東遊園地での竹灯籠の設置

「一・一七のつどい」ではグラウンドに毎回竹灯籠をならべて文字を描いています。まず雪地蔵の作製前に他のボランティアと協力して竹灯籠の準備を行いました。



午後四時

雪地蔵の作製

地元神港学園の野球部部員の皆さんを中心としたボランティアで雪地蔵を作製します。



被害はありませんでした。

阪神大震災

魚崎地区追悼慰霊祭

本町は、特に戦中の疎開が縁で神戸市東灘区の魚崎町協議会と姉妹盟約を結び交流を行っていますが、同地区でも、震災のときに二百六名の尊い命が奪われています。



雪は、約七時間が経過しましたが、運搬した雪は融けていませんでした。



雪地蔵は、大きなポリバケツに雪を詰めて胴体をつくり、頭部は、バケツで型を作りました。



四〜五人のグループに分かれて雪地蔵を作製していきました。細やかなところは、スプーンを使って仕上げていきました。

会から本町へ慰問に来られた経過があります。

一月十七日、魚崎地区では、追悼慰霊祭が行われ、町長が出席。

魚崎地区の慰霊碑を前に、本町から亡くなられた方へ哀悼の意を表しました。

「阪神大震災一・一七のつどい」に江府町の雪を

当時の神戸の復興には、多くのボランティアが参加しており、この震災から生まれた「きずな・支え合う心」を次世代に語り継ぐため、また教訓を風化させないためにも発生後の平成十年から毎年、市と市民ボランティアの連携により実行委員会が結成され、「阪神淡路大震災一・一七のつどい」が開催されています。今年も、地震発生から十五年がたち、節目の年です。

「阪神淡路大震災一・一七のつどい」実行委員会では、節目の年、「五年前まで行っていた雪地蔵を復活させたいが、どこにでもお願いできるものでもない。神戸市とゆかりのある町、雪のある町でどこかお願いするところはないか探していました。実行委員会の中から魚崎町協議会と交流している江府町にお願いしてみてもいいか」ということから本町に「ぜひ奥大山の雪で神戸に雪地蔵を作成したい。作成してもらえないか」と依頼がありました。

町として、魚崎町と交流を続けていることから、「阪神大震災一・一七のつどい」の開催趣旨に賛同し、雪地蔵作製を行いました。

一月十六日（土曜日）
午前九時

笠原での雪の積み込み

笠原にあるブナの森工場で四トントラックに雪を積み込み、神戸に向かいました。



一月十七日（日曜日）
午前五時四十六分

雪地蔵の竹灯籠に火が灯されました。



阪神淡路大震災から十五年、鳥取県西部地震から約十年の月日が経過し、当時のことが風化しつつあります。「天災は、忘れた頃にやってくる。」と言います。日頃から防災への意識を持ちたいものです。

江府町の地上デジタル

テレビ放送のエリアが、広がります！

〜古峠山（下安井）にNHK、

民放3社の
テレビ電波塔を建設〜



最近、よくテレビや新聞などで「地デジ化」という広告をよく見かけたり、聞いたりします。

今のテレビの電波をデジタル化することによって約三十五パーセントもの電波が節約でき、その節約した電波は、交通事故の防止や緊急災害時の通信など、安全でより快適なくらしのために活用されます。

全国的には、二〇一一年（平成二十三年）七月には、いままで使用していた地上アナログ放送波は、地

上デジタル放送波に切り替わってまいります。

町内の地上デジタル放送はいつごろ、開始になるのでしょうか？

現在は、町内で地上デジタル放送は、江尾地区、下蚊屋地区のテレビ共聴施設や一部地域を除いて受信することができません。

このため、江府町は、同じくテレビ難視聴地域を抱える日野町と協力してNHKと民放三社に働きかけを行いました。その結果、両

町が財政支援することによって、下安井の古峠山に地上デジタル放送のテレビ電波塔（日野局）が建設される

が決定され、今年の九月には開局の見込みです。

この電波塔が完成すれば、町内のほとんどの地域で地上デジタル放送が受信可能となります。

また、この電波塔が完成しても、地上デジタル放送が受信できない難視聴地域には、町から支援を検討しています。

地上デジタル放送波を見るにはどうすればよいのでしょうか？

受信して見るには、大きなポイントは二つあります。

① アンテナ

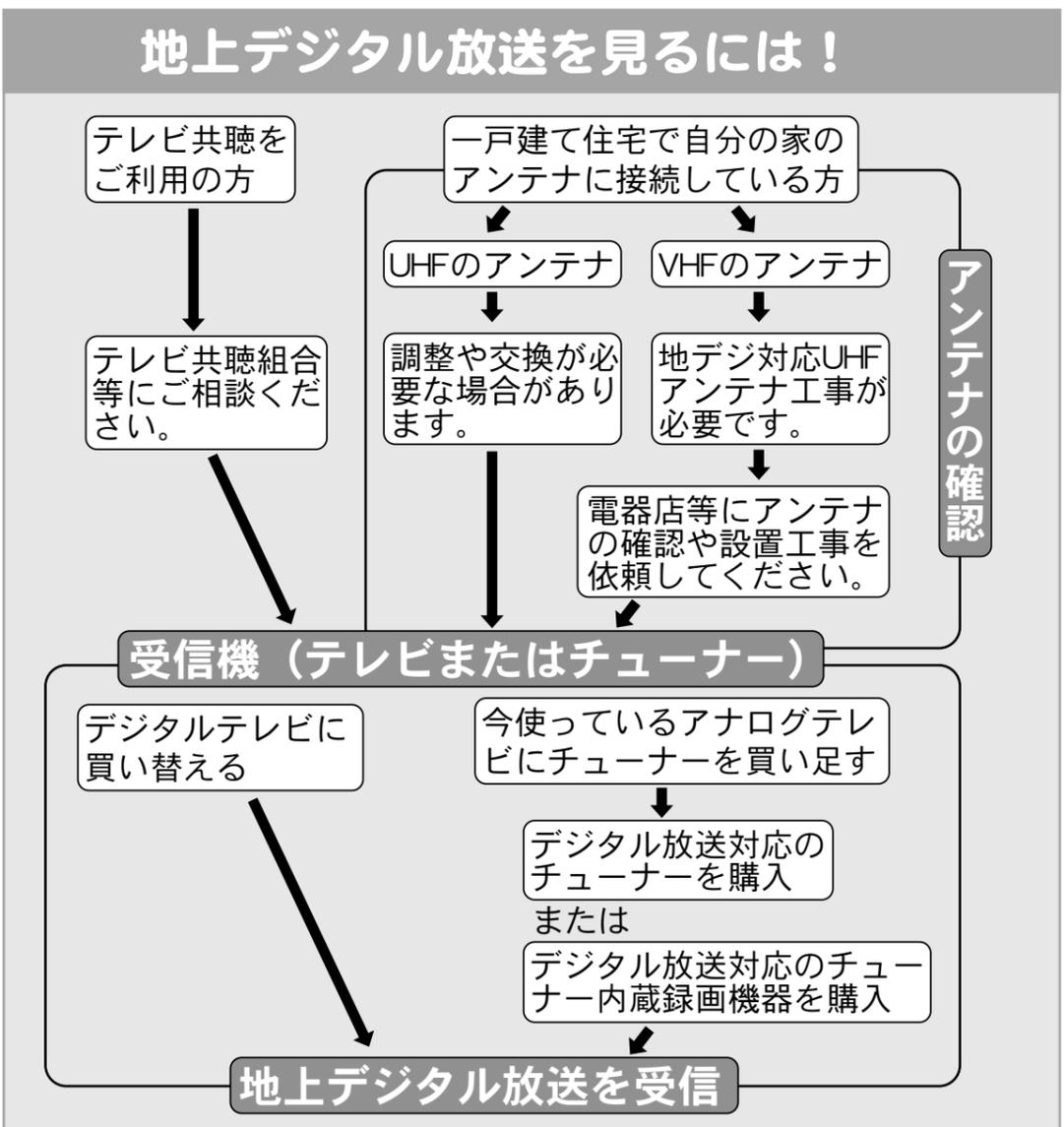
地上デジタル放送波は、UHFアンテナで受信します。VHFのアンテナでは、受信しません。以前から使っているUHFアンテナでも可能な場合もありますが、受信できない場合があります。

※共聴施設でご覧の方については、施設の改修により視聴可能となります。技術支援や助成制度もあります。

② 受信機

受信機は、今もっているアナログテレビに地上デジタル放送用のチューナーを買って取り付けるか、または、新たに地上デジタル放送対応のテレビを購入することが必要です。

地上デジタル放送を見るには！



以上のことから、地上デジタル波を視聴する場合は、よく電器店等の方と相談してください。

また、わからないことがありましたら、左記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

○地デジコールセンター（総務省）
電話番号

〇五七〇〇七〇二〇
〇三―四三三―四一一
（平日九時〜二十一時）
土・日・祝日九時〜十八時

○総務省 鳥取県テレビ受信者支援センター
（デジサポ鳥取）

電話番号

〇八五七―三六―九一九〇
（平日十時〜十八時）

○役場企画政策課
電話番号 七五―三三〇五

平成二十二年消防出初式

一月六日、江府町山村開発センターでは、本町の消防団、西部広域消防江府消防署等、総勢約六十名が列席し、消防出初式が行われました。

式では竹内町長から「内外の情勢不安とともに人命を伴う、自然災害、人的災害が発生し、尊い人命、財産が一瞬にして奪われる事態に寸時の油断もできない状況にあります。このような情勢のなか



で消防に対する町民の信頼、期待、重要性は高まっています。教養、訓練を積み、町民の期待に応えるよう切望します」とあいさつ。出初式終了後は、江尾地内を分列行進しました。また、久連地内日野川左岸では、祈念放水が行われました。

消防表彰者（敬称略）

○江府町長表彰

勤続章 第一分団 白石 耕路（班長）
大岩 一彦（班長）

○西部消防協会長表彰

功績賞 第一分団 白石 耕路（班長）
大岩 一彦（班長）
勤続章 第二分団 西岡 浩治（団員）
長尾 英俊（団員）
末次 義晃（団員）
宇田川 晃（団員）
谷口 博志（団員）

○鳥取県消防協会長表彰

功績賞 第一分団 久代 領樹（団員）
勤続章 第一分団 中野 寛（班長）
第二分団 川上 良文（副分団長）
小林 健治（班長）
松原 俊二（班長）

○鳥取県知事表彰

功績賞 関内 隆文（分団長）
小谷幸之介（班長）
○財団法人日本消防協会長表彰
功績賞 大岩 泰彦（団長）

まちづくり町民会議

委員会を開催

一月二十八日、防災・情報センターでは、まちづくり町民会議委員会を開催しました。委員の方々に説明された内容は次のとおりです。



- ① 財政見直しについて
 - ② 環境美化集落支援事業（案）について
 - ③ 地上デジタル放送対応・情報通信基盤整備事業について
- 委員さんからは、身近な問題でもある地上デジタル放送対応についての質問などがありました。

江府町議会企業誘致特別委員会開催

「サントリー工場増設の可能性調査」の連続揚水試験実施中

一月二十七日、江府町議会企業誘致特別委員会（委員長 森田智議員）が開かれました。



サントリー天然水株式会社 奥大山ブナの森工場社長徳田昌嗣氏から昨年の第一回「水工場増設にかかる笠原水環境影響評価委員会」で決定された増設時の計画揚水量（八十万トン／年）で行う連続揚水試験を工場近隣に井戸二本を掘削し、平成二十一年十二月十七日より実施中であり、全体のスケジュールとして現在は、予定どおりの調査検討段階であると状況報告が行われました。今後については、

- ① 水環境影響評価委員会での承認。
 - ② 増設用井戸用地の確保。
 - ③ 景気回復に伴うミネラルウォーター市場の拡大により、天然水「奥大山」の販売数量見込みが増大となるか。
- 以上の三つの条件が解決されることにより、増設の意思決定に進む旨の報告がされました。意思決定から概ね二年後が操業開始となる見込みです。工場が増設される場合は、年間八十万トン（日平均二千二百七）の揚水、製造三、〇〇〇万ケース、投資額約六十億円、雇用二十名程度、またそれに伴う倉庫棟などの増設も見込まれます。

第六十四回全国植樹祭 (平成二十五年開催)を 奥大山鏡ヶ成で

昨年八月の社団法人国土緑化推進機構の理事会及び総会において、第六十四回全国植樹祭を鳥取県で開催することが内定しました。開催されれば、四十八年ぶりの開催となります。

鳥取県での開催候補地は、「とっとり花回廊」(南部町)、「とっとり出会いの森」(鳥取市)、本町の「鏡ヶ成」の三箇所となっています。

このことから、本町では、全国植樹祭を招致しようと一月十二日に町長を委員長とする全国植樹祭招致委員会を設立しました。

本町は、秀峰大山の麓に位置し、森林を中心として緑と自然に恵まれた町です。また、水資源にも恵まれ、ミネラルウォーターも製造されています。しかし、世界的には、異常気象により、恵まれた水資源がいつまでも続くとは限りません。この水資源は、豊かな森林により保水され、私たちに潤いを与えてくれます。これからもこの恩恵を受けていくには、より自然環境保護に努めていかなければなりません。全国植樹祭は、本町の取り組みを全国にアピールする良い機会であるとともに、町内外はもとより、特に自然環境、特に森林環境への関心を高めることができ、また、同時に自然環境保護の拡大にもつながることが期待できます。

今後、様々なイベント等を通じて招致活動

を行っていくつもりです。招致活動に町民のみなさんのご理解と協力をお願いします。

全国植樹祭とは

全国植樹祭は、戦中、戦後の過度な森林伐採により荒廃した国土の緑化を目指し「荒れた国土に緑の晴れ着を」をスローガンに、昭和二十五年に天皇皇后両陛下のご臨席のもと第一回全国植樹祭が山梨県で行われて以来、国土緑化推進運動の中心的行事として毎年、全国の各都道府県と社団法人国土緑化推進機構が主催となって持ち回りで行われています。鳥取県では、昭和四十年に第十六回全国植樹祭を大山町上楨原で「林種転換による拡大造林」をテーマとして開催されました。昨年、福井県では、第六十一回全国植樹祭を総参加人数約二万三千人の規模で次のように行いました。

- ・プレイイベント
プレイ植樹祭・県内各地での植樹
- ・前日
レセプション・関連行事
- ・式典当日
「式典行事」
- ・表彰
- ・天皇、皇后両陛下のお手植え・お手播き「植樹行事」
- ・植樹会場等での参加者記念植樹

ぺったんこ、ぺったんこ！ 〜子供の国保育園でもちつき〜

一月二十九日、子供の国保育園において、恒例のもちつきが行われました。

園では、地産地消、食育推進の取り組みの一つとして、多くの給食食材をみちくさ推進会議から仕入れており、このもちつきは会員のみなさんとの交流事業ともなっています。

園児たちは、実際に杵をつかってもちをついたり、つきあがったもちを丸めたりと昔ながらのもちつきを体験しました。できあがったもちは、早速、お雑煮となつて給食に登場。みんなおいしくいただきました。



農業委員会だより



パソコン農業簿記 講習会を開催

一月二十八日、江府町防災情報センターで農業経営改善に役立てていただくために、パソコン農業簿記講習会を開催しました。

この講習会では、毎年、県農業会議、日野農業改良普及所の方々からパソコンの基礎的知識、貸借対照表や決算書など財務諸表まで指導していただきます。参加者十七人の皆さんは、真剣に取り組んでいました。

参加者の方からは「経営分析により、経営状況を把握して、経費の削減を図りたい」「経済貯金から転記するのが大変でしたが、仕分帳だけで帳簿への転記ができるし、また入力しながら誤りが確認でき、短時間で処理することができて良い」と感想をいただきました。

また、参加者の中には長年のパソコン簿記利用者で、参加者にアドバイスする場面も見受けられました。

講習会を通じて、参加者自身の農業経営の実態を学び、今後の経営に役立てていただければと期待しております。



真剣にパソコンに取り組んでいる農家の皆さん

農地制度が 変わりました！

改正農地法は昨年末から施行。新しい農地制度は、農地転用を規制するとともに農地を効率的に利用する耕作者による地域との調和に配慮した権利取得を促進することをねらいとされ引き継ぎ掲載します。

農地転用許可の対象が拡大

許可不用であった病院、学校等の公共転用も許可の対象となります。
※違反転用等に対する罰則が強化されます。



農地の相続は届け出が必要

相続によって農地を取得した人は、農業委員会に届け出が必要になります。
※届出しなかったり、虚偽の届出をした時は10万円以下の過料に処せられます。



あ と が き

健康に生きましょう！

歌の好きな人は、長生きできるそうです。心にゆとりがあったり、うきうきするときは自然に歌がでて、悲しい時は流し去ってくれます。今年も歌を口ずさみながら農作業に励みたいものです。

身近な情報、意見、ご感想など農業委員会までよろしくおねがいします。

農業委員会総会（1月）

審議案件

- | | |
|------------------|----|
| 1) 非農地証明願の申請について | 1件 |
| 2) 農用地利用集積計画について | 6件 |

農地相談会のご案内

農地の売買、賃借、転用など農地に関して日頃困っておられる事や疑問に思われている事がありましたらお気軽にお越しください。

◎相談日 2月26日(金) 午後1時30分から
江府町役場

第31回 西ノ島交歓スキー教室



一月二十六日から二十八日まで、第三十一回江府町・西ノ島町交歓スキー教室が行われました。姉妹町交流の一環としてこの教室に参加したのは、両町の五年生児童五十四名（江府町三十名、西ノ島町二十四名）。雪不足も心配されましたが、当日の鏡ヶ成スキー場は、冬の澄んだ青空のもと、すばらしいグレンデコンデイション。夏の臨海学校から交流を深めてきた児童たちは、再会を喜びあいながら、元氣いっぱいスキーを楽しみました。両町児童がともに過ごすのは二日間でしたが、スキーのほか学校紹介などの交流を通して友情を確かめました。

楽しかったね、また会いましょう!!

祝！成人

未来に向かって 42人、大人の第一歩

一月十日、山村開発センターを会場に江府町成人式が行われ、三十七名が出席。新しい人生のスタートラインに立ちました。

受付ロビーでは、久しぶりに会う懐かしい顔にこちらこちらで歓声上がり、仕事や学生生活などの近況や中学校のころの思い出話に花が咲きました。

全員での記念撮影の後、一人一人名前を紹介され、セレモニー会場へ入場。家族や来賓の方々に見守られ、少し緊張しながらもまっすぐに前を

向き堂々と歩いていく姿からは、まさにこれから進む未来へ向かう決意がひしひしと伝わってきました。
式典は厳肅な雰囲気で行われ、成人者を代表して竹内町長から森田成美さん（佐川）に記念品が手渡されました。また最後に、山本昇平さん（新町一）が両親や家族、町への謝辞を述べて幕を下ろしました。



成人者意見発表では、二人の方が、成人式という節目での今の思い、将来の夢や希望を発表（別に掲載）。さわやかで堂々とした姿は「元気で明るい輝きのある町づくり」にエネルギーをあたえてくれ

ました。

続いて、子どもからの成長をつづったスライド上映、家族から成人者へのメッセージ。出席者にあらかじめ寄せられた手紙のうち、ご了承いただいた四人の方のものを朗読しました。真剣な面持ちでメッセージを聴く成人者、その後姿を見つめる保護者。何よりも大切に育てた宝物にそぞくあたたかい目には、小さく光るものがありました。

第二部は、会場を日輪閣に移してのお祝いパーティー。ジュースで乾杯の後、来賓の方々や保護者も一緒に、なごやかなひと時を過ごしました。新成人の四人を中心としたメニューでのバンド演奏もあり、会場は祝福ムードでいっぱいでした。

なお、今年成人された方は次のみなさんです（敬称略）

- 本一 森 千 咲
- 本二 加 藤 力 也
- 本三 坂 本 望 美
- 本四 岡 本 脇 圭 三
- 本五 江 本 慧

新 一

- 山 本 昇 平
- 森 田 真 紀
- 岡 本 晃 一
- 山 本 三 花
- 篠 田 亮 子
- 永 井 友 貴
- 清水 隆 弥
- 徳 岡 友 樹
- 高 野 伸 也
- 久 連
- 大 満
- 佐 川
- 下 垣 賢 太郎
- 森 田 成 美
- 前 田 三 奈
- 奥 田 竜 成
- 加 藤 美 耶
- 大 森 由 紀
- 梅 田 卓 也
- 伊 達 脩 二
- 小 倉 信 子
- 美 用 三 代 幸
- 貝 田 大 樹
- 遠 藤 有 子
- 宮 本 佑 介
- 浦 部 拓 人
- 小 瀧 裕 美
- 永 井 勇 気
- 橋 谷 遼
- 梅 林 耕 基
- 南 波 知 香
- 藤 原 由 範
- 遠 藤 晃 司
- 中 尾 陽 平
- 磯 江 昇

吉 原 遠 藤 奈 央 美

西 成 妹 尾 実 帆 野

袋 原 清 水 理 紗

「二十歳の決意」

森 千 咲（本一）



私は、中学三年生の時に「人の心の痛みがわかる保健師になろう」と決心し、米子東高校、鳥取大学へ絶対に入學してやろうとその時強く思ったことを今でもよく覚えています。

母親の死を迎え、寂しさのあまり受験に対して弱気になっていた私に父が掛けてくれた言葉があります。それは、「お母さんと約束したんだろ。しっかりとしなさい。」という言葉でした。この言葉に勇気づけられたおかげで、今の私があるのだと思います。父には感謝しています。

顔に励まされたことが何度もありました。自分が患者さんに笑顔を与えなくてはいけないのに、いつも患者さんから元気を貰っています。そんな笑顔が、私が頑張るための原動力となるのです。私はこの患者さんの笑顔を守ってほしい。いつも笑顔で、今度は私が患者さんへ笑顔を与えられるような、そして患者さんの心に優しくふれることのできる保健師を目指したいです。

今は米子に住んでいます。いずれは家族のもとに戻り、いつの日かこの江府町で働けたらな、と思っています。家族のもとを離れてみて初めて、家族の大切さに気付くとともに、自分が家族に対してしてあげられたことがどれだけ少なかったかを思い知らされました。ここまで育ててくれたおじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、本当にありがとう。これから

はもつと家族みんなを大切にしていきたいです。みなさんも、家族への感謝を忘れないでほしいと思います。長くはなりませんが、本日

この緑と人の優しさにあふれる素晴らしい江府町で成人式を迎えられたことを誇りに思います。式典を開いてくださった教育委員会の皆さま、式典を開くにあたり準備してくださった全ての人にお礼を申しあげたいと思います。本当にありがとうございました。

清水 理 紗（袋原）



私には、今までも、そして成人したこれからもずっと、大事にしていこうと思ってるものが二つあります。それは、夢を持ちつづけることと、人と人とのつながりを大切にすることです。

私は、幼いころからずっと持ちつづけている大きな夢があります。今、その夢を叶えるためにがんばっている途中です。初めは反対していたお父さんやお母さんも今は応援

してくれていて、本当に感謝しています。いっばい迷惑をかけてしまうのに対応してくれる両親や友達のために夢を叶えたいです。

そして、私がもうひとつ大切だと思うのが人と人とのつながりです。私が夢を追えるのは、支えてくれる両親や友達がいるからです。落ちこんだときははげましてくれて、大丈夫だと言ってきてくれて、背中を押してくれる人達がいるから、私は前に進むことができます。私の周りには人達には本当に感謝の気持ちでいっぱいなんです。私は夢を追う中でたくさんの人に出会いました。たくさんの人に会いたくさん刺激をうけ、自分自身が成長できたように思っています。今まで二十年間生きてきた中で出会わなければよかった人なんて一人もいないと思っています。誰か一人でも欠けていたら、今の私はありません。お父さんは昔から私に「人と人とのつながりはすごく大事だから大切にしなさい。お前が困った時に絶対誰かが助けてくれるから。」と言って

てくれていました。昔はあま

り意味もわからないまま聞いていたけど二十歳になった今、その言葉の意味がとてよくわかるし、自分自身とても共感できます。少しクサイことを言いますが、人と人との出会いは奇跡だと思います。今ここにいるみんなと同じ学年になれて、一緒に成人式をむかえられたことも奇跡だと思います。とてもうれしく思います。

私はこれからも、人と人との出会いを大事にしながらか、自分の夢に向かってがんばっていかうと思えます。私の夢は、叶う可能性がすごく低くて、叶うか叶わないかなんてわかりません。がんばったら必ず叶うというものでもありません。でも、未来は自分でつかむものです。私がおばさんになった時にぜんぜん夢が叶ってなかったら、笑ってくれてもかまいません。誰かに笑われても、私は自分の夢を誇りに思いたいです。二十歳になりました。ここに決意を表明します。私は、夢を絶対かなえます。

※いただいた原稿を原文のまま掲載しました。

北風をきって！

第三十五回奥大山スキー大会

一月二十三日、第三十五回奥大山スキー大会が、奥大山スキー場において行われ、アルペン、スノーボード、クロスカントリーの三競技に八十九名が出場しました。



選手たちは、時折吹きつける冷たい風にも負けず、元気いっぱい力と技を競い合いました。

入賞者は次のとおりです。
（小中学生は六位まで、一般は三位まで表彰。所属は町内分のみ掲載）

●大回転

小学女子低学年〔出場三名〕

- ① 小谷 未空
- ② 後 妃奈
- ③ 吉村 知華

小学男子低学年〔出場五名〕

- ① 内田 青空
- ② 柳生 考勇
- ③ 長尾 駿弥
- ④ 矢野 志
- ⑤ 矢野 匠真

小学女子高学年〔出場四名〕

- ① 高木 愛華（江府小）
- ② 小谷 香夏
- ③ 西村 香歩
- ④ 白石 菜々（江府小）

小学男子高学年

- ① 長尾 海斗
- ② 藤原 有恭（江府小）
- ③ 寺本 神
- ④ 種 弘樹
- ⑤ 森川太久哉（江府小）
- ⑥ 末次 大輔（江府小）

中学女子

- ① 吉儀 美波
- ② 下垣 奈穂（江府中）
- ③ 末次 佳奈（江府中）
- ④ 伊達 悠菜（江府中）
- ⑤ 石原 佑奈
- ⑥ 寺本 優

中学男子

- ① 大澤 聖一（江府中）
- ② 坂本 翔夢
- ③ 小谷 凌希
- ④ 北村 拓登（江府中）
- ⑤ 長尾 優太
- ⑥ 種 和樹

一般女子〔出場二名〕

- ① 藤原 美緒（日野高）
- ② 下垣 祐委（米子高専）

一般男子

- ① 高津 亮二（奥大山SC）

●スノーボード

男子〔出場二名〕

- ① 大東 和則
- ② 山本 竜也

女子〔出場一名〕

- ① 山本 美穂

- ② 川上 拓磨（奥大山SC）
- ③ 宇津宮昂平

●クロスカントリー

小学女子低学年

- ① 遠藤 葵恵
- ② 本田 萌果
- ③ 木村 美紀
- ④ 小谷 実乃
- ⑤ 柴田 笑里
- ⑥ 柴田 麻里

小学男子低学年〔出場四名〕

- ① 河本 海
- ② 遠藤 一希
- ③ 内藤颯一郎
- ④ 原 昂士

小学女子高学年

- ① 遠藤 花奈
- ② 浅田 彩絵
- ③ 遠藤 芙憂
- ④ 本庄 未来

- ⑤ 小谷 瑞希
- ⑥ 原 みづき

小学男子高学年

- ① 河本 龍
- ② 浅田 平
- ③ 木村 友紀
- ④ 假谷 智志
- ⑤ 長崎 翼
- ⑥ 田辺 真矢

中学女子〔出場二名〕

- ① 内藤 夏希
- ② 田邊 悠梨

中学男子

- ① 佐伯 健太
- ② 木村 隼人
- ③ 遠藤 大輝
- ④ 田邊祐太郎
- ⑤ 川上 光隆（江府中）
- ⑥ 假谷 佳祐



～出向者・集落推進員反省会より～

小地域懇談会を振り返って②

町報こうふ1月号では、小地域懇談会を振り返り、実際に集落での話し合いから出された気づきや課題、懇談会に対する意見や要望を紹介しました。出席されたみなさんはもちろん、懇談会に参加されていない方々にも、熱心な議論の様子が伝わったのではないのでしょうか。

今号では、12月15日開催の出向者と集落推進員のみなさんによる反省会で話し合われた、懇談会のまとめや来年度への課題、その他の意見を紹介します。

反省会は、出向者五十四名、集落推進員八名が出席して実施。当日は、事務局からの経過報告の後、七つの分散会で今年度の成果や反省、次年度の課題などについて話し合われました。

《集落での成果と課題》

○結婚差別はもうなくなった、だから、もうこんな学習はいいではないかという認識がまだあり残念。

○「自分は差別していない」という自分だけの意識だけでなく、エネルギーはいるし時間もかかるが周りへつなげる。少しずつ働きかけ、広げていくことが大切。

○結婚問題には、同和問題だけでなく外国人差別や障害者差別も含まれていることに気づいていった。実は、いろんなテーマを含んだ大きなテーマだった。

○江府町オリジナルの啓発資料「あかるいこころ」の存在に気がつき、有効活用できた。

○地区の方の結婚については実態が良くわからない。若い世代の人達を中心にかな

り改善されているのでは？歴史的な勉強と理解等基本も必要である。

○考える要素がたくさんあり、意見も多く出た。しかし、高齢者の中に「またか！」という思いがある。

○「部落の人間」だと言う必要があるか？ないか？どうなのか？自分が言いたいと思えばよし。外国の方との結婚の例もあり、なんで部落だけ、と思う。学習の成果もあらわれてきている。



《出向者自身の成果と課題》

○班編成を十三班に広げないといけないのか？出向者が手薄になるのでは？十班ぐらいにしたなら、全体の密度が濃くなる。一班の人数を多くし、集落に合わせて出向者の人数を調整してはど

うか。

○事前研修会が二回あり、良かった。

○役割分担（一人一役）をして運営したのがよかったが、出向者の出席率が悪い班は大変だったと思う。

○出向者として出ることが勉強になる。これをきっかけに勉強しよう、たんぼぼ学級に出てみようと思えた。

○同じ出向者が、数年同じ所に行くと、意識の変容が読み取りやすいのではないか。

○課題は、教材が重く、時間がかかりかかってしまった。結婚を扱うと、多方面での差別が見えてくる。同和問題に絞り込むには工夫が必要。「S君の資料」では、「言うべきか、言わないべきか」に話題が集中しがちだった。

《次年度への引継ぎ・課題》

○出向者も出席者も高齢者が多いので、夜でなく、昼間に（土・日でも）開催する。区長にまかせきりにしない。○集落の総会や他の話し合いとセットにして、出席者を増やすというのも一つの工

夫。

○中学生・高校生の参加を促す。大人がどんな学習をしているのか見てもらえるだけでもよい。

○独居の高齢者が出にくいという面があるが、会合に出て話をするのが楽しいというような会にしていくように考えたい。

○無理に意見を求めると次回不参加の場合があるので留意が必要。

○「あかるいこころ」の冊子の裏や町報にでも今回の反省やアンケートの意見を載せて広報してほしい。

○今回の（反省会の資料）集落記録の抜粋が興味深い。他の集落の意見を知ることができるので、この記録を各世帯に回覧したら、興味をもってもらえると思う。

人権問題の解決は、一人一人の課題、そしてみんなの課題です。いろいろな意見を聞いたり、自分の考えを話したり…。まずは懇談会に参加してみることにしよう。そこにはきっと新たな気づきや発見があるはずですよ。

学校お助け隊が スタートしました！



町民の皆さんにご協力をお願いしております「学校お助け隊」の学校支援活動がいよいよスタートしました。

第一回目は、一月十八日に行われました江府小学校のスキー教室です。四年生以上、八十名ほどの児童が参加しますので、先生方だけでは指導に手が回りません。そこで保護者の方もボランティアとして参加されま

したし、「学校お助け隊」にボランティア登録をしていただいている方も指導者として参加していただきました。

この日は好天に恵まれ、ていねいに指導してもらえ環境で練習できたお陰で、初めてスキーを履いた子ども達も、午後には奥大山スキー場の第一リフトに乗り、滑って降りることができるようになりました。子ども達は楽しく一日を過ごし、スキーを満喫したようです。

第二回目は、同じく江府小学校の書写の授業を支援していただきました。子ども達は、新年の書き初め大会に向けて書写の練習に一生懸命取り組んでいるところでした。

子ども達は指導をもらった日の日記に、感想を次のように書いていました。

「お」の書き方を教えてもらって、筆自体を曲げないことが分かったし、

筆をうかせてたおすことも分かりました。そのことを実感してみると、今まで書いていた字とはちがって、見かえるような字が書けました。私は、「もっと早く来てほしかったな。」と思いました。先生に教わって、前も好きだったけど、もっと習字が好きになりました。

(三年生児童)

今日の書写で、いろいろなアドバイスをもらいました。長い半紙に清書を二枚書きました。一枚目はたくさんアドバイスをもらいました。二枚目は一つのアドバイスでした。それは「晴れた空」の「晴」の青の横ぼうです。「特に一番下の線をもう少し長く。」と言われました。書いていると「バランスが良くなつたね。」と言われました。次の時間は言われたことを意識しながらがんばって、「一番いい字が書けるといいなあ。」と思いました。

(四年生児童)

ちょっと書き始めはきんちようしただけで、習っていくうちにアドバイスされてもきんちようしなくなつて上手に書けるようになりました。私は「伝統を守る」の「を」がバラ

スがとれなくて、うまく書けなかったけど、「二画目を長く」や「三画目を一画目より長い所から」などアドバイスしてもらってバランスのよい「を」が書けたと思います。

(六年生児童)



子ども達は、支援をもらうことで、自信をつけ、より一層自分の力を伸ばしていくようです。

今後とも、子ども達への支援、「学校お助け隊」の活動にご協力をお願いいたします。

なお、二月末には「学校お助け隊」活動についての講演会を計画しています。こちらにも、たくさんのご参加をお待ちしています。

江府中学校あり方検討委員会を設置

町では、生徒数の減少や校舎の老朽化など江府中学校を取り巻く環境を調査し、将来のあり方を検討するため、委員十五名で構成する「江府中学校あり方検討委員会」を設置しました。

一月二十一日開催の第一回委員会では、竹内町長が「児童生徒の学習環境の整備として小学校統合を決定し、四月に江府小学校が誕生、耐震改修や体育館の改築に取り組んできましたが、生徒数が減少していく中で中学校の将来をどう考えるかが次の課題です。町民のみなさんが町財政を心配していただいているところでもあります。この会では財政にとらわれない建設的な議論をお願いしたい」とあいさつ。ついで、委員長に佐々木満さん（学校評議員・洲河崎）、副委員長に宇田川聡さん（PTA選出・一旦）を選任し、生徒数の推移や江府中学校の現状などの資料に目を通しながら、委員会としてどのように議論を進めていくかを確認しました。

次回以降、「生徒数の推移等からみた学校運営」「校舎その他の周辺環境」の二つの視点を中心とした、具体的な内容検討が進められます。

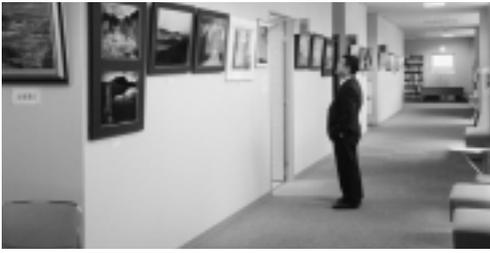
～ふるさとが好き、自然が好き～

「小谷元伸 写真展」開催中

江府町文化協会では、江府町防災情報センターにおいて、会員個展「小谷元伸 写真展」を開いています。

会期は、展示中の前期作品展が2月28日まで、後期作品展が4月1日～30日までです。

「永年にわたり、撮りためた多くの作品の中から、自信作を選んで展示しました。言わば私の集大成です。今年は寅年で私は人生7回目の年男。記念に粗品も用意しました。ぜひご覧ください」（小谷元伸）



ブライアンのフリーストーク③①

It's the time of the month where lovers are enamored and those of us who are single (like me!) cringe in despair. Yes, February...which means, Valentine's Day. It's a time when people can summon up the courage to confess their love and also a time for hearts to be broken. In the U.S., unlike Japan, both men and women engage in the ritual of gift-giving. And yes, it's not limited to chocolates, by no means. Flowers are a popular gift, as well as the more expensive jewelry option, dining at a fancy restaurant or taking a moonlight stroll on the beach.

Well, I've never been big on Valentine's and not just because it's a black hole for gift-giving and chocolate eating. It's also because my birthday is so close by! So instead of worrying about Valentine's day, I plan a get together with my friends for my birthday. So if you're like me, just enjoy each day as it comes and whether it's Valentine's Day or not, it won't make a difference.

Alright, ciao.

この時期は付き合っているカップルには最高で、独身の人（僕みたいに！）には最悪。そう、2月といえばバレンタインデーです。勇気を出して告白する時期であり、失恋の時期でもあります。アメリカでは日本と違い、男性も女性も贈り物をするのが慣例です。しかし、それはチョコとは限るわけではありません。お花もけっこう人気がありますし、高価な宝石や高級レストランでの食事、月夜の浜辺を散歩するのもいいですね。

僕は、個人的にはバレンタインにあんまりこだわってなくて、贈り物やチョコを食べたりするのにお金がたくさんかかるだけと思っています。でも何より、僕の誕生日が近いからです！バレンタインの心配をするより、友達とバースデーパーティーの準備でもします。僕のように考えるなら、毎日楽しく生きることで、バレンタインであろうがなかろうが気にしなくなると思っています。じゃ、チャオ。





2月の本棚

～町立図書館より～

♪江府町立図書館♪開館時間

平日 8:30～19:00
土日祝 8:45～17:30
TEL 75-2005

○小説

神様のカルテ／夏川草介
あした咲く蕾／朱川湊人
再会／重松 清
図書館革命／有川 浩



○エッセイ

つくも神さん、お茶ください／畠中 恵

○伝記・歴史

ビジュアル*幕末1000人／世界文化社

○心理学・教訓

あなたの運はもっとよくなる！／浅見帆帆子
微差力／斎藤一人
「争わない」生き方／和田秀樹
忘却の整理学／外山滋比古



○宗教

図解*よくわかる仏教／田代尚嗣

○社会

一人の声の世界を変えた！／伊藤千尋



○医学

非常識の医学書／安保 徹
しょうが・豆腐・ねぎ／石原結實
死ぬときに後悔すること25／大津秀一



○環境・産業

ぼくらは農業で幸せに生きる／田中 進
たたら製鉄の近代史／渡辺ともみ

○美術・芸能

世界の美術／アンドリュー・グレアム＝ディクソン
龍馬伝(前編)／日本放送協会

○雑書

I型自分の説明書／Jamais Jamais



○児童書

明治維新／加来耕三・すぎたとおる・中島健志
西南戦争／加来耕三・すぎたとおる・岩村俊哉
加藤清正／加来耕三・すぎたとおる・早川大介
蒙古襲来／加来耕三・水谷俊樹・やまざきまこと
竹炭のふしぎな力／中根周歩
にんきものをめざせ！／森 絵都

天狗／たかしよいち

かいけつゾロリきょうふのようかいえんそく／原ゆたか

とんぼの島のいたずら子やぎ／バーリント・アークネシュ

夢の彼方への旅／エヴァ・イボットソン

北のはてのイービク／ピーパルク・フロイゲン

○絵本

パンダの手には、かくされたひみつがあった！／山本省三
であえてほんとうによかった／宮西達也

ひつじぱん／あきやまただし

きみがいま／アリスン・マギー

ようせいアリス／デイビッド・シャノン

ハロウィーンのおばけ屋敷／エリカ・シルバーマン



『あした咲く蕾』 朱川湊人

美人だけど性格が悪い、僕のおばさん。だけど彼女は、正真正銘の天使だった…。
「赦されること」と「受け入れられること」。
世界でいちばん美しい物語。

『つくも神さん、お茶ください』

畠中 恵

大人気『しゃばけ』シリーズ戯作者、初のエッセイ集。愛する本や映画、音楽、修業時代の苦労話に中国爆食珍道中。ここでしか読めない書き下ろし随筆まで収録した、ファン必読の書！

『忘却の整理学』 外山滋比古

頭を働かせるには、まず忘れること？ 情報・知識でメタボになった頭脳を整理し、忘却することの重要性を考える、刺激的なエッセイ。
『思考の整理学』、待望の続編です。

『夢の彼方への旅』 エヴァ・イボットソン

事故で両親を亡くしたマイアは、ブラジルに住む親戚のもとへ引き取られることに。長い船旅の末、彼女がたどりついたのは…。
少女を待ち受ける恋と冒険の物語。

『ひつじぱん』 あきやまただし

ひつじのパンやさんが、ぱんぱかばーんとパンを焼きます。おおきいパンはぞうさんのパン、ながーいパンはきりんさんのパン。
さあさあ今日はどんなパン？

今月の特集

“おにの絵本”

今月は節分にちなんで、鬼が出てくる絵本を特集しています。

- 2歳～ ○あかたろうの1・2・3の3・4・5
- 3歳～ ○ちびっこちびおに
- 4歳～ ○だいくとおにろく
- 5歳～ ○それからのおにがしま
- 6歳～ ○ソメコとオニ
- 児童～ ○鬼ぞろぞろ

などなど。豆まきで鬼を追い払ったあとは、かわいい鬼やたのしい鬼のお話をどうぞ♪



INFORMATION.....INFORMATION.....INFORMATION.....INFORMATION.....INFORMATION.....INFORMATION.....INFORMATION.....

「保険法」という新しい法律ができました。 平成22年4月1日から「保険法」が施行されます。 保険契約のルールが新しくなります。

保険契約に関するルールは、従来の商法の中に定められていましたが、商法の保険契約に関する規定は、明治32年の商法制定後、100年近くにわたり、実質的改正がなされていませんでした。そのため、現在広く普及している傷害疾病保険に関する規定が存在せず、現在の保険制度に適合しない内容になっていない等の問題があったことから、現代社会にあった適切なものとする必要があったため、今回、この商法の保険契約に関する規定を全面的に見直し、独立した法律にしたものが新しい保険法です。

1 共済契約への適用範囲拡大

保険法は、保険契約だけでなく、共済契約にも適用されます。

2 傷害疾病保険に関するルールの新設

損害保険や生命保険だけでなく、入院保険やがん保険など、広く会社に普及している入院や手術等を保障する傷害疾病保険に関する規定も設けられています。

3 保険・共済の利用者の保護

保険契約や保険金受取人をより一層保護するため以下のような手当がなされています。

- ①契約締結時に告知に関するルールを見直し、告知義務の内容が、商法に定める自発申告義務（保険会社から質問されなくても、重要な事実について自ら告知すべき）から質問応答義務（重要な事実のうち保険会社から質問されたことに対して答えるべき義務）に改められる等の見直しが行われています。
- ②保険金等をお支払する場合の支払期限に関する規定を設け支払の不当な遅延を防止しています。
- ③保険契約者等を保護するために重要なルールについては、約款の定めが保険法の規定よりも被保険者または保険金受取人に不利と評価される場合には、その部分を無効にしています。

4 賠償責任保険契約における被害者の優先

PL保険などの賠償責任保険契約について、被保険者（企業等）が倒産した場合でも被害者が保険金を優先的に取得できるようにしています。（先取特権の規定を新設）

5 保険金受取人の変更ルールの明確化

生命保険契約及び傷害疾病定額保険契約については、遺言によっても保険金受取人を変更することなど、保険金受取人の変更に関する手続を明確にしています。

○詳しくは、加入されている保険会社にお問い合わせください。

行事あれこれ

2月

都合により、日程が変更される場合があります。

3月

日曜日	行事名	場所	時間
15月			
16火	1歳6か月児（H20.6月～8月生まれ児）・2歳児（H19.10月～12月生まれ児）健診 ふれあいデー	総合健康福祉センター 子供の国保育園	受付 13:00～13:30 10:00～11:30
17水			
18木	ふれあいデー 明德学園 もの忘れ外来	子供の国保育園 防災・情報センター 江尾診療所	10:00～11:30 9:30～16:00 受付 13:00～16:00
19金	ぼちぼち倶楽部 公民館講座（フラダンス）	総合健康福祉センター 防災・情報センター	13:30～15:00 14:00～15:30
20土	広域隣保活動（カラオケ教室） 公民館講座（和紙折り紙） 第10回鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭冬季大会（スキー・スノーボード競技）	本町五丁目集会所 防災・情報センター 奥大山スキー場	19:30～ 13:30～15:30 開会式9:00～
21日			
22月	公民館講座（墨彩画）	防災・情報センター	13:30～15:30
23火	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00～11:30
24水	公民館講座（樹脂粘土）	防災・情報センター	13:00～15:00
25木	犬、猫引取り（事前連絡必要）	総合健康福祉センター	9:30
26金	農地相談会 家族の会 中学校進出学習閉講式	役場 総合健康福祉センター 本町五丁目集会所	13:30～16:00 10:00～12:00 19:30～
27土	広域隣保活動（カラオケ教室） 公民館講座（和紙折り紙）	本町五丁目集会所 防災・情報センター	19:30～ 13:30～15:30
28日	学校お助け隊出発式	防災・情報センター	10:00～12:00

日曜日	行事名	場所	時間
1月	公民館講座（エコクラフト）	防災・情報センター	13:30～15:30
2火	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00～11:30
3水			
4木	ふれあいデー もの忘れ外来	子供の国保育園 江尾診療所	10:00～11:30 受付 13:00～16:00
5金			
6土			
7日			
8月	公民館講座（絵手紙・油絵）	防災・情報センター	13:30～15:30
9火	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00～11:30
10水	人権行政相談所	防災・情報センター	9:00～12:00
11木	ふれあいデー	子供の国保育園	10:00～11:30
12金	公民館講座（生け花）	防災・情報センター	19:00～20:30
13土			
14日			

●広域隣保活動・児童館事業の参加希望者は、本五集会所（75-2624）へ連絡して下さい。

ハローワークから求人情報

●求人情報・採用に関する事などは米子公共職業安定所根雨出張所（電話72-0065）へ連絡して下さい。

ハローワーク根雨では、地域と職種ごとに求人区分して公開カードを提示しています。県外での就職を希望される方は、相談窓口のコンピュータで検索もできます。

ハローワーク根雨の管轄の町別の求人情報は、毎月2回第2、第4火曜日に発行しています。また、ハローワーク米子の情報も提供しています。

インターネットにより全国のハローワークの求人情報（毎日更新）を検索できます。

<http://www.hellowork.go.jp>

ハローワーク根雨では、仕事に関する相談をお受けします。お気軽にご相談ください。

江府町人権同和問題啓発標語

明倫小学校6年 三輪綾女 気づこうよ 自分の言葉 相手の気持ち
米沢小学校6年 川上祥子 差別はね 人がきずつく ことなんだ

学校名、学年は応募があった平成20年度時点で掲載しています。

人の動き

1月届
(敬称略)

◎ごめい福を祈ります

(住所)	(氏名)	(年齢)	(世帯主)
佐川	清水 武三	56歳	滋
新道	生田ミツノ	95歳	功
宮市原	三上 修治	94歳	義實
貝田	藤岡ふさこ	96歳	昭人

ご寄付

社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。

(1月分) 敬称略

◎見舞い返しとして

宮市	山川 浩市	本人退院
本町五	仲嶋 真道	本人退院
小原	谷口さよ子	本人退院
武庫	加藤真由美	本人退院

◎香典返しとして

佐川	梶原 一幸	父信明死去
小江尾	長尾 洋子	夫繁死去
佐川	清水 由美	夫武三死去
宮市原	三上 義實	父修治死去
新道	生田 功	母ミツノ死去
本町五	川上 新一	父春夫死去

日本赤十字社江府町分区に次の方から寄付をいただきました

◎見舞い返しとして

新町二	福田 操子	本人退院
-----	-------	------

交通死亡事故ゼロ継続日数

1,455日 (2月1日現在)

火災ゼロ継続日数

253日 (2月1日現在)

町の人口	3,555人 (-5)
男	1,668人 (-3)
女	1,887人 (-2)

世帯数 1,141世帯 (-1)

1月末現在()は前月比

シリーズ 健康づくりグループ ⑩

太極拳クラブ

「太極拳クラブ」は平成16年度から、福祉保健課が毎年行っていたチャレンジ太極拳入門講座参加者が中心になり作った運動グループです。平成21年度からは「奥大山ぶなの森クラブ」の教室として活動しています。

太極拳は、緩やかな動きの全身運動で健康づくりには最適な運動です。当クラブでは、入門太極拳や上級の24式太極拳を中心に、ストレッチや気功の要素の入ったものや扇を使った演舞などを参加者の習得度に合わせて行っています。

太極拳は、中国風の音楽に合わせて行うため、優雅さがあり、見て「カッコいい!」、やっても「気持ちいい」運動として親しまれています。



クラブの活動は毎週木曜日、午後1時30分～3時30分に総合健康福祉センターで行っています。現在約20名の方がクラブに参加しています。

参加はいつでも受け付けていますので、興味のある方はお気軽に教室を見に来てください。

太極拳クラブの問い合わせ先

江府町江尾1944-2 奥大山ぶなの森クラブ
事務局 社会教育室 松井 電話番号 75-2005

鳥取県の記事を満載

県総合情報誌

「とっとりNow」

(第85号・3月1日発行予定)

手間を重ね、蔵や家に晴れ着を着せる。古くから土蔵造りが盛んだった鳥取県では、他に類をみない左官文化が開花、その独特のデザインに全国から熱い視線が注がれています。

巻頭特集では、県内の蔵を巡り、歴史や特徴を紹介し、先人たちの生きる知恵を探ります。

- 取扱場所/県内の主な書店など
- 定 価/1部300円(税込)
- 発 行/年4回(3, 6, 9, 12月)

【問合せ先】

鳥取県広報連絡協議会(県庁広報課内)
☎0857-26-7086



今月の国民年金

納付期限

2月分
平成22年3月31日まで

日本年金機構から送られている納付書を添えて金融機関でお支払いください。

なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

納税相談は

2/18(木)~
3/15(月)です。

詳しくは町報1月号をご覧ください。



発行／江府町役場

〒689-4401 鳥取県日野郡江府町大字江尾475
 TEL (0859) 75-3223 FAX (0859) 75-2389
 ホームページURL : <http://www.town-kofu.jp/>

編集／町民生活課 印刷／富士印刷 (有)